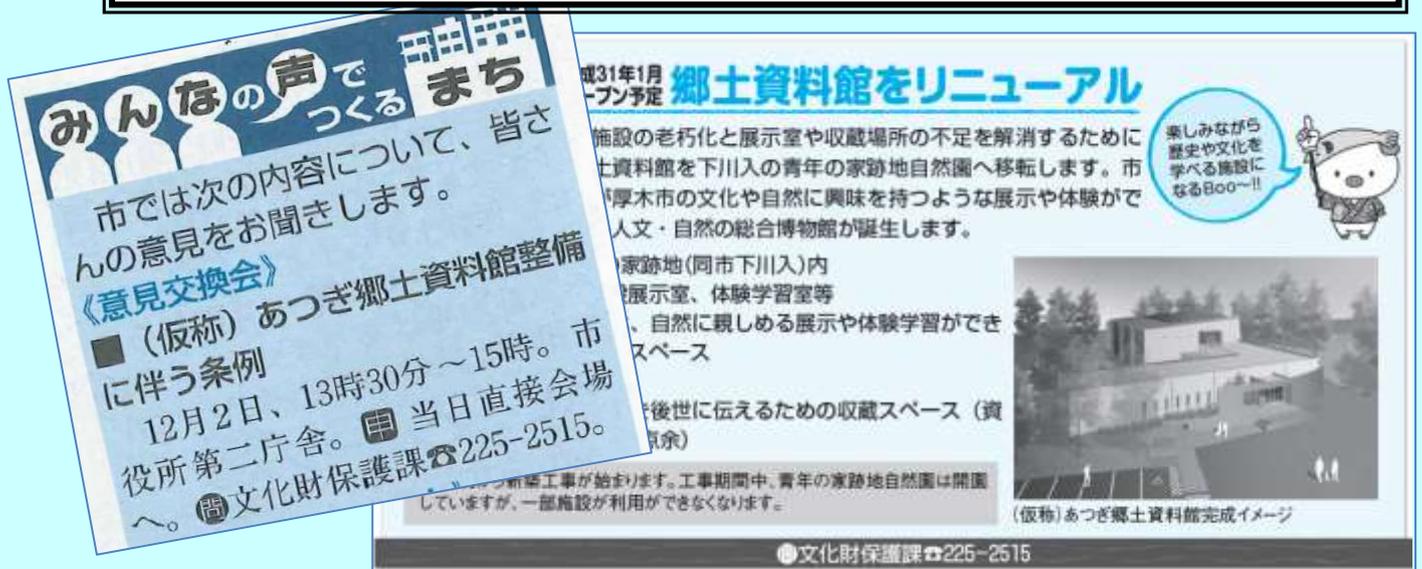


厚木市郷土資料館 NEWS 226

(仮称) あつぎ郷土資料館建設 準備報告③

条例制定についての意見交換会



厚木市郷土資料館は、新施設開館を目指し、準備を進めておりますが、広報あつぎにも度々、資料館についての記事が載るようになりました。今回は、11月15日号掲載の「(仮称) あつぎ郷土資料館整備に伴う条例等の制定についての意見交換会」(左の記事)についてご説明いたします。条例というと、どこか堅苦しい感じがしますが、建物が完成したのち、皆さんが利用する施設として運用していくためには無くてはならないものです。

この条例、施行規則を制定するあたり、準備の一環として市民参加条例に基づいて、意見交換会を12月2日に行います。これは、予定している設置条例の内容について、市民の皆さんから広く意見をいただき、実際の条例に反映させていくために行うものです。

さて、下川入の工事現場では、地盤改良工事が進んでおりますが、その後は本体基礎の部分の工事へと移行、徐々にその形がみえてくることでしょう。これからは、常設展示だけでなく、特別展示会の検討、準備、また増加する講座、イベントの計画など、いよいよ活動の準備も始まります。

平成29年度中は、今の資料館を開館しながらの準備作業です。そのため、いろいろとご不便をおかけすることもあるかと思いますが、皆さんのご理解、ご協力のほど、引き続きお願い申し上げます。

*今年の「資料館 news」では、新施設の準備の様子をお伝えします。

講座「はじめての古文書」受講者募集

毎年恒例となってきました「はじめての古文書」ですが今年度も来年の2月から全6回の日程で開催いたします!!

古文書というと、「なんだか難しそう」とか、「面倒くさそう」など様々な理由で歴史好きな人でも敬遠してしまう人が多いものですが、今からほんの二百年ほど前の人々が日常で使用していたものを、現代の私たちが習得できないはずありません。

この講座では、古文書の解読を通じて、辞書の引き方などの基礎から、古文書から見える当時の生活などを学習していきます。

新聞で騒がれたあの古文書を読みたい。博物館に展示してあるあの古文書には何が書いてあるのだろう。家に飾ってある掛軸の内容が知りたい。この講座に参加する動機はなんでも結構です。まずは「習うよりも慣れろ」の言葉どおり、昨年度の参加者の**体験談**を読んでみて下さい。まずは古文書に触れるだけでもという気持ちでの参加も大丈夫! 持ち物は、筆記用具とやる気だけあれば十分です。

古文書に触れる機会などまったくなかったのですが、高札や短冊などの文を読みたいと以前から思っていましたので、この講座を受講しました。
先輩方に丁寧に指導していただき、読める文字も少しずつ増えてきました。楽しく続けたいと思っています。

熊谷 博子

私が古文書の勉強を始めたきっかけは、資料館の展示でした。今から少し前に生きた人々の生活をより詳しく、具体的に知りたいと思ったからです。
初めて目にした古文書の中には、時に御託を並べ、あるいはおべっかを使い、お上の厳しい規制の目をくぐり抜け、したたかに生き抜く人々の姿がありました。
初心者の方だけでは、これだけのことを読み解けるはずはありません。講師をつとめる先輩や先生からお聞きする折々の話で古文書の世界は広がっていきます。
楽しいですよ!

大塚 真由美

- 1 申込期間 30年1月31日まで
マイタウンクラブ 172595
- 2 開催期間 平成30年2月～3月の第2、3、4木曜日
(午前10時～12時) 開催回数 計6回
- 3 申込先 厚木市郷土資料館
電話 046-225-2515 FAX 046-225-1070
- 4 申込方法 マイタウンクラブ、電話、FAX、窓口
- 5 応募人数 24人(応募者多数は抽選)



2017年 学芸員実習の感想 地域の学びの場を実感

郷土資料館では毎年、市内在住、在学で学芸員を目指す大学生の実習受け入れを行っています。資料館で行われる講座、展示会の一部を体験することで、学校での座学とは違った学びをしていただきました。今年の夏、資料館で博物館実習を経験した学生にその感想を記してもらいました。

*

資料館移転準備のため、今回の計8日間の実習は6月から始まり、月に1、2回という変則的なペースでしたが、とても長く感じました。私は元々、他の博物館でのボランティア経験がありましたが、今回は来館者でもない、ボランティアでもない「実習生」という視点から博物館について学習することが出来ました。書庫や収蔵庫を見せて頂くという貴重な機会もあり、よかったです。特に初日（ホタル）と2日目（セミ）の行事補助では、事前準備や参加する方の対応を行い、実際に運営する大変さを体感することができました。

また、他の実習日には1人で行動しなければならない場面もあり、どのようにしたら良いだろうと悩み、考える事が多くありました。資料館資料引越し用ダンボールの組み立ては、最初は時間がかかったり、テープが曲がったりと苦戦しましたが、ガムテープでしっかりと抑え、角を合わせることを意識して組み立てると効率があがりました。単純な作業ではありますが、時間を無駄にせず、手際よく作業をすることが肝心だと学びました。

古文書研究会の活動を見学した際には、地域の方たちとの大切な学びの場であり、交流ができる場所であるという博物館の役割を再認識しました。その他にも、ボランティアの方々との交流があり、自分自身の知識となる事ばかりでした。学芸員の苦労や、やりがいを実感し、とても充実した博物館実習になりました。ありがとうございました。

国土館大学文学部史学科 4年
西山 笑莉



2017. 12月 郷土資料館カレンダー

日	曜日	行 事 内 容	実施場所	時 間	対象等
1	金	ホール展示「あつぎ百科 昔の暮らし 昔の道具」 (~1月31日まで 1階 エントランスホール)		9:00~ 17:00	◎
2	土	(仮称) あつぎ郷土資料館整備に伴う 条例等の制定について意見交換会	第2庁舎 16階会議室	13:30~ 15:00	◎
4	月	伝えよう わらべうたあそび! *18日「わらべうたあそび」はお休みです。御注意願います。	学習相談室	10:00~ 15:00	◎
14	木	古文書解読会	学習相談室	14:00~ 16:00	◎
21	木	古文書解読会	学習相談室	14:00~ 16:00	◎
28	木	古文書学習会「相模国風土記稿」を読む	学習相談室	14:00~ 16:00	◎



○申込み制

☆受講決定済みの方

◎参加自由



ホール展示 「あつぎ百科 昔の暮らし、昔の道具」

■30年1月31日(水)まで 午前9時から午後5時

* 小学3年生の社会科教科書に登場する資料を中心に展示しています。

* 新しく寄贈していただいた資料も展示中です。

古民家岸邸の12月の休館日

開館時間は午前10時から午後3時まで

*4(月)、5(火)、11(月)、12(火)、18(月)

19(火)、25(月)~1/3(水)まで

(問い合わせ・申込み先)

厚木市郷土資料館

〒243-0003 厚木市寿町3-15-26

<http://www.city.atsugi.kanagawa.jp/>

046-225-2515

厚木市郷土資料館 news 226

発行日：平成29年12月1日

編集：厚木市郷土資料館

発行：厚木市教育委員会